

|  |   |             |                |         |      |    |
|--|---|-------------|----------------|---------|------|----|
| 科目名  | カリキュラム論   |             | 担当教員           | 小久保 圭一郎 |      |    |
|  |   |             | 担当形態           | 単独      |      |    |
| テキスト   | 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館<br>「保育用語辞典」ミネルヴァ書房  | 単位数<br>授業形態 | 2単位            | 講義      | 開講時期 | 後期 |
| <p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育における計画の意味と考え方を理解し、実際に指導案を作成することができる。</li> <li>・様々な計画とそれぞれの持つ特徴について理解する。</li> <li>・環境を通して行う教育について説明できる。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>保育者の援助には必ず意図があり、その意図に基づいて子どもへのかかわりや活動が行なわれている。ここで言う意図とは、一人ひとりの子どもの成長や発達の様子を見通し、それと照らし合わせながら、その時期その場面その子どもにとって適切であろうと判断しかかかっていく際の根拠となるものなのだ。保育のカリキュラム、すなわち保育における計画は、そうした日々子どもへのかかわりや活動の意図を考えていく上での基本であり、そのため上記「到達目標」が設定されているのである。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 教科ガイダンス－本教科の概観と到達目標<br/>         第2回 保育における計画の基礎的知識<br/>         第3回 保育における計画の種類とその意義<br/>         第4回 部分的な活動における指導計画の書き方<br/>         第5回 環境を通して行う教育にかかわる基礎的理解<br/>         第6回 環境を通して行う教育と保育課程<br/>         第7回 指導計画の反省評価<br/>         第8回 第1回－第7回の確認とまとめ<br/>         第9回 0歳児の発達に即した指導計画<br/>         第10回 1歳児の発達に即した指導計画<br/>         第11回 2歳児の発達に即した指導計画<br/>         第12回 3歳児の発達に即した指導計画<br/>         第13回 4-5歳児の発達に即した指導計画<br/>         第14回 保育における計画の歴史<br/>         第15回 カリキュラム論にかかわる基礎的事項の確認とこれまでの学習成果のまとめ</p> <p><b>■準備学習</b></p> <p>授業内配布のレジメを読み込んだ上で、次回までに内容を記述できるようにしておき、授業始めの小テストに臨む。</p> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験 — 50%</li> <li>・授業内課題 — 30%</li> <li>・授業内小レポート — 20%</li> </ul> |   |             |                |         |      |    |
| 参考文献   | 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館<br>「保育所保育指針解説書」フレーベル館<br>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」<br>フレーベル館 | 特記事項        | 特になし。          |         |      |    |
| 卒業・免許状・資格との関連  | 幼稚園教諭免許状必修<br>保育士資格必修   | 幼           | 教職に関する科目       |         |      |    |
|  |   | 保           | 保育の内容・方法に関する科目 |         |      |    |